# 動物管理科 昼間部 ホースプロコース

2 年生シラバス

学科名	動物管理科					1	ス名	ホースプロコ	ース		
科目名	騎乗理論2							必修・選択	マ必修の別	必修	
中长田	1年	前期	-	時間	後期	-	時間	授業時間	数合計	69 時間	
実施期	2年	前期	40	時間	後期	29	時間	※授業50分を1	時間とする。	03 h41	
	千葉 千尋										
担当講師	実務経験	有	乗馬指導	拿者資格	·有。			.=			
	天伤在映	1 1	千葉県強	能化選手	認定。馬	術県大会	や全日	本馬術競技会に	て入賞・優勝線	怪験あり。	
	指道 <i>去とかる</i>	、為の心得	安全分符	金につい	で理解し	指道法	ミトレー	ニングにて実			
授業概要								技術向上に役	授業形式	講義	
	立てる。	- >3 / //	0 0 70 70 70 70 70		. , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	, , , , , ,	0 15157(1.	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		A133-0	
	乗馬指導者に										
到達目標	より高度な技	技術知識を	学び、騎勇	乗や指導	の技術向	上に役立	ヹてる。				
	1							できる知識を身			
	自身の騎乗動	動画(ビデス	ナ)を観る	る事によ	り自らの	欠点を確	[認し、	騎乗技術向上に	反映する。		
教科書・教 材・服装等	· LET'S ENJ	OY RIDIN	G ・乗馬	馬教本	・馬のた	めのグル	ーミン	グ完全ガイド			
授業計画時間 数						授業内	容				
1~3	制御の方法	(保定法)	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>						
4~6	毛刈りとトリ	ミング									
7~9	毛刈り(実践	·····································									
10~12	たてがみ・尾	•									
13~15	保護肢巻(フ	プロテクティ	ィブ・ブー	-ツ)							
16~18	尾と脚部の保	 R護									
19~21	肢巻の巻き方										
22~24	肢巻の巻き方		テスト)								
25~27	乗馬具 鼻革		<u> </u>								
28~30	乗馬具 鞍										
31~33	乗馬具 頭絡る	 と銜									
34~36	乗馬具 頭絡の	 の組み立て	とサイズ	調整の乳	 実践						
37~39	乗馬具 装着の	の実践									
40~42	乗馬具 手入	 h方法									
43~45	乗馬具 まとぬ	<u></u> め									
46~48	部班運動と号	<del>}</del> 令							-		
49~51	装蹄見学								···-		
52~54	蹄鉄			-							
55~57	装蹄手順										
58~60	調馬索運動										
61~63	調馬索運動	(トレーニ	ングにおり	ける課題	夏と対策)						
64~66	障害馬術競技	支の種類									
67~70	障害馬術競技	支のルール	・採点方法	去							
	・出席率							, 0	筆記	己試験	
成績評価方法	・定期試験や	かテスト					定期試験	È	実技	支試験	
	・平常点(摂	・平常点(提出物・授業参加意欲など) 実施しない									
	A評価	出席率95	%以上・	定期試	験や小テス	スト80点	以上・平	ヹ゚゚常点 優れてい	る		
_1.V#_=;;	B評価	出席率94	~85%以	上・定	期試験やな	トテスト	79~65 <i>;</i>	点以上・平常点	普通		
成績評価基準	C評価	出席率84	~75%以	上・定	期試験やな	トテスト	64~50 <i>;</i>	点以上・平常点	やや劣る		
	F評価	C評価の	 基準を満り	たしてい	 ない場合		11.11		<del></del>		

学科名	動物管理科					==	-ス名	ホースプロコー	ス			
科目名	ホーステーヒ	ピング				198-2-1-1-1		必修・選択必	修の別	必	修	
cta <del>14 - 8</del> 0	1年	前期	-	時間	後期	-	時間	授業時間数	合計	20	0土 日日	
実施期	2年	前期	14	時間	後期	15	時間	- ※授業50分を1時	間とする。	29	時間	
	キネシオテ-	-ピング協会	会(青野 菜	(名)		•						
担当講師	実務経験	有			·ピング、 )認定講座			。 あり。2022年は草	韋国でのテー	-ピング詞	 講座も	
授業概要	法のテーピン	ィグが適切? ィグではキ?	か見立て、 ネシオテ-	施術が - ピング	が出来るよ が協会認定	ように学、 EのCKT	ぶ。 「ライセ	ンス取得を目	授業形式	講	義	
到達目標	人馬の筋肉や	ウ皮膚の状態	態を判断	し、適切	刀なテーヒ	ピングがり	出来るよ	:うになる。CKT1	<sup>-</sup> ライセンス	の取得		
教科書・教 材・服装等	キネシオテー 講習内容によ							ハサミ				
授業計画時間 数						授業内	容					
前期												
1	ebookダウン	ebookダウンロード・教材確認・テープ説明										
2	概要・伸縮え	プを触・	ってみる	・カット	してみる	· )						
3 ~ 11	テキストに浴	つて実際に	こテーピ)	ングして	こみる							
12 ~ 13	テーピング・	振り返り	・CKTTテ	スト対	·策							
14	CKTTテスト	(前期定期	試験に充	でる)								
後期												
1	ebookダウン	ロード・孝	女材確認:	・テーフ	"説明							
2	概要 ヒト月	ラテープとの	の違いを処	感じてみ	<b>y</b> る							
3 ~ 12	テキストに浴	つて実際に	こテーピ)	ングして	ひる(実	₹馬を使~	っての講	座が望ましい)				
13 ~ 14	振り返り									-		
15	ホーステーヒ	<b>プ</b> ング座学	・実技ま	とめテス	スト							
	・出席率							0	—————— 筆言	 記試験		
成績評価方法	・定期試験な	ウ小テスト					定期試験					
	・平常点(扱		 業参加意復	 敦など)						しない		
	A評価			<u> </u>		- 100点・	平常点	優れている				
	B評価							点以上・平常点 🏗	 普通		•	
成績評価基準	C評価	+							<del></del>			
	C評価 出席率89~80%以上・定期試験や小テスト89~80点以上・平常点 やや劣る F評価 C評価の基準を満たしていない場合											

学科名	動物管理科				] ==	ス名	ホースプロコ	ース	
科目名	乗馬クラブ実	 ミ務					必修・選抜	R必修の別	必修
d teta	1年	前期	- 時間	後期	T -	時間	授業時間	<b>『数合計</b>	
実施期	2年	前期	26 時間	後期	30	時間	※授業50分を2	L時間とする。	56 時間
	千葉千尋、绸	<b>『</b> 原恵子、』	丸尾優菜						
担当講師	実務経験	有	乗馬指導者資格	·有。					
授業概要	様々な業務を 行動できる能	·経験する ②		内で効率				授業形式	演習
到達目標	電話対応や接	客のロー	・作成を一通り紹 ルプレイを実施し 務を経験し、時間	.、サービ					
教科書・教 材・服装等	· LET'S ENJ	OY RIDIN	G ・乗馬教本	· HORS	E CARE	MANUA	L		
授業計画時間 数					授業内	容			
1~2	厩舎の清掃、	飼料、水	の給餌(以下、厩	務作業とす	する)				
3~4	厩務作業、腐	そ	管理、清掃(側溝、	厩舎扉台	<u>含む)</u>				
5~6	厩務作業、施	記環境整(	備(レストラン、!	駐車場、教	数室、蹄	洗場、ト	イレ等)		
7~8	厩務作業、牧	<b>大柵、移動</b>	 柵、備品の修理						
9~10	<b>厩務作業、</b> 競		 、役割分担						
11~12	<b>厩務作業、競</b>	竞技会片付	 け、馬場整備・道	具整理				•	
13~14	<b>厩務作業</b> 、馬	 表衣の洗濯							
15~16	厩務作業、横	大、障害	 物、牧柵のペンキ	 -塗り					
17~18	<b>厩務作業、馬</b>	 長・馬体 <sup>・</sup>		用途を理	 解する			·	
19~22	厩務作業、道	真管理テ.	 ストの実施の実施						
23~26	<b>厩務作業、前</b>	期範囲ま	 とめ・復習						
27~28			う(より適切に、.	 より効率。	よく)				
29~30			、役割分担②		<del></del>				
31~32			け、馬場整備・道	具整理②	)				
33~34	厩務作業、草								
35~36			<u> </u>	 )訓練					
37~38			の為の馬輸送、及		 :心得				
39~40			拾い、蹄跡なら						
41~42			、役割分担③	<del>-, -</del>	J-1 1//				
43~44			<u> </u>	重整理(3	<u> </u>				
45~46	<b>厩務作業、施</b>								
47~48	7,700,017, 171, 100		<u>~</u> を学ぶ(お客様対	オ虎・雷部	5広対・=				
49~52	展務作業、接			3,70 FE AL	-ro-/-1 F	- 1137.340,	·/· H /		
53~56	厩務作業、後								
	・出席率		C N K H			4,3,5,49		筝章	 己試験
成績評価方法	・チェックテ	- ストや宇	 技試験			定期試験	0		
たい 原文 ロー   四ノノノム			      業参加意欲など)			[	<u> </u>		<u> </u>
<u> </u>	A評価			路評価 4	息わでい	ス (QA) 占	 		<del></del>
	D=11./±	山唐夜04	~85%N L . 中·	古計除証/	出 來沒	(80~.0	0年121年7 ・4	2 学占 英语	
成績評価基準	B評価 C評価	<u> </u>	~85%以上・実 ~75%以上・実						<b>少</b> ス

学科名	動物管理科						ス名・	ホースプロコ		
科目名	動物管理実習	₹2						必修・選	択必修の別	必修
実施期	1年	前期	-	時間	後期	-	時間	授業時	間数合計	82 時間
<b>天</b> 爬荆	2年	前期	54	時間	後期	28	時間	※授業50分を	1時間とする。	OZ #5]
	千葉千尋、組	『原恵子、ま	L尾優菜							
担当講師	実務経験	有	乗馬指導	尊者資格	有。					
授業概要	1学年で学んの個々の給剤							初に行い、馬る。	授業形式	実習
到達目標	馬の異常状態	まる まを早期発見	し、その	の適切な	対処を身	につける	0		る能力を身にて る判断力を身にて	- -
教科書・教 材・服装等	· LET'S EN.	IOY RIDING	・乗馬	馬教本	· HORSE	CARE N	MANUAL	-		
授業計画時間						授業内:	容			
数 1 0		Salaha	AAT /1 :-	- 100 74	/L-1444 1 1 -					
1~2	厩舎の清掃 館						+ ×× ··			
3~4	厩務作業、放				放牧後の	馬体ケア 	を字ぶ			<u> </u>
5~6	厩務作業、原			洒(1)						
7~8	厩務作業、体		実施①							
9~10	厩務作業、馬									
11~12	厩務作業、調									
13~14	厩務作業、馬									
15~16	厩務作業、馬			-						
17~18	厩務作業、肢									
19~20	厩務作業、店									
21~22	厩務作業、呼	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,								
23~24	厩務作業、夏	夏季の馬体ケ	ア方法(	全体洗涤	)、尻尾、	たてがみ	<u>*)</u>			
25~26	厩務作業、引	き続き行う	(より適	i切に、。	より効率よ	( < )				
27~28	厩務作業、鴈	展舎周りの管	理、清排	帚(側溝、	厩舎扉等	<del></del>				
29~30	厩務作業、順	え 合作業テス	トの実施	施②						
31~32	厩務作業、調	周馬索運動 <i>σ</i>	復習おる	よび歩様	チェック					
33~34	厩務作業、路	辞鉄の点検、	検査							
35~36	厩務作業、環	環境整備(馬	湯、パド	ック、カ	施設周辺)					
37~38	厩務作業、順	<b>死舎内大掃</b> 隊	È							
39~49	厩務作業、順	<b>死舎管理応用</b>	1							
50~54	厩務作業、前	前期まとめ								
55~56	厩務作業、馬	長衣の着せ方	ī、はず	し方、管	理につい	て				
57~58	厩務作業、君	≦刈りとトリ	ミング	の実施						
59~60	厩務作業、位	*力テストの	実施②							
61~62	厩務作業、鴈		トの実涯	施③						
63~64	厩務作業、訓		ストの	実施						
65~79	厩務作業、順	R.舍管理応用	3							
80~82	厩務作業、後	<b></b> 単まとめ								
	・出席率								筆詞	己試験
成績評価方法	・チェックラ	ストや実技	支試験				定期試験	0	実技	支試験
	・平常点(抗	是出物・授業	美参加意?	欲など)					実施	しない
	A評価	出席率955	%以上・	実技試験	食評価 優	憂れている	5(90点	以上)・平常	点 優れている	
<b>武徳歌在甘</b> 郷	B評価	出席率94	~85%以	(上・実	支試験評价	<b>普通</b>	(89~8	0点以上)・平	Z常点 普通	
成績評価基準	C評価	出席率84	~75%以	(上・実持	支試験評价	■ ややき	劣る(79	9~70点以上)	・平常点 やや	 劣る
	F評価	C評価の非	準を満れ	たしてい	ない場合					

学科名	動物管理科				中国	ス名	ホースプロコ	1ース	
科目名	グルーミンク	実習					必修・選	択必修の別	必修
実施期	1年	前期	- 時間	後期	-	時間	授業時	間数合計	81 時間
大肥粉	2年	前期	42 時間	後期	39	時間	※授業50分を	1時間とする。	O1 #\J H,
	千葉千尋、組	『原恵子、	丸尾優菜						
担当講師	実務経験	有	乗馬指導者資	各有。					
授業概要	状態を維持す の適切な対処	る。馬の	理、馬体ケア等 健康な状態と異 学ぶ。 わせて正しく使	常な状態を				授業形式	実習
到達目標	馬の個々の馬馬の異常状態	体、天気 《を早期発』	からで立て 、季節によって 見し、その適切 れ、編み込み、	の正しいか な対処を身	身につける	5.	•		
教科書・教 材・服装等	· LET'S ENJ	IOY RIDIN	G ・乗馬教本	· HORS	E CARE	MANUA	AL .		
授業計画時間 数					授業内	容			
1~3	厩舎の清掃 館	詞料、水の	給餌(以下、厩)	<b>务作業とす</b>	る)				
4~6	厩務作業、捘	毛期の馬	<u></u> 体ケア						
7~9	厩務作業、放	牧時の注	意点、放牧場(	パドック)	の管理				
10~12	厩務作業、放	牧後の馬	<u></u> 体ケア						
13~15	厩務作業、馬	衣の洗濯							
16~18	厩務作業、馬	体検査(	発熱・腫脹・疼	痛・口腔内	り・駆虫)				
19~21	厩務作業、吗	呼吸数や体質	温、脈拍数の測	定					
22~24	厩務作業、馬	体ケア道	具の手入れ方法						
25~27	厩務作業、馬	具(革)の	手入れ方法						
28~30	厩務作業、季	節毎の馬	体ケア注意事項	(夏季)					
31~33	厩務作業、夏	関期の馬体	ケア(全体洗浄、	尻尾、た	てがみ)				
34~36	厩務作業、馬	体ケアテ	ストの実施				,,		
37~42	前期範囲まと	め・復習							
43~45	厩務作業、引	き続き行	う(より適切に、	より効率	よく)				-
46~48	厩務作業、原	発舎の乾燥	・消毒					-	
49~51	厩務作業、路	辞鉄の点検	 、検査						
52~54	厩務作業、装	<b>上</b> 蹄見学							
55~57	厩務作業、原	尾、たて	がみのケア(毛	のすき方)					
58~60	厩務作業、原		 がみのケア(編	み込み)					
61~63	厩務作業、 ト	・リミング	(耳・顔・尾・	踵)					
64~66	厩務作業、馬	長衣の着せ	 方、はずし方、	管理につい	いて				
67~69			体ケア注意事項						
70~72	厩務作業、毛	5刈りの実	<u></u> 施				<u> </u>		,
73~75	厩務作業、馬	 馬体ケアテ	ストの実施②						
76~81	後期範囲まと	どめ・復習							<del></del> ·
	・出席率					100		筆記	己試験
成績評価方法	・チェックラ	テストや実	 技試験			定期試験		実担	
	・平常点(拼	是出物・授	 業参加意欲など	`)			-,	実施	しない
	A評価	出席率95	5%以上・実技詞	<b>試験評価</b>	優れてい	る(90ヵ	点以上)・平常	常点 優れてい	る
_1.64 F_ 6- 44 .44	B評価	出席率94	1~85%以上・ラ	 実技試験評	価 普通	(89~	80点以上)・	平常点 普通	
成績評価基準	C評価		1~75%以上・乳						 P劣る
	F評価		 基準を満たして			· · ·			

学科名	動物管理科				コース名		ホースプロコ	ース				
科目名	騎乗トレーニ	ング2					必修・選技	尺必修の別	必修			
	1年	前期	- 時間	後期	- 時	間	授業時間	間数合計	200 0+8			
実施期	2年	前期	160 時間	後期	168 時	間	※授業50分を	1時間とする。	328 時間			
	千葉千尋、銀	<b>「</b> 『原恵子、』	九尾優菜									
担当講師	実務経験	有	乗馬指導者資格	有。								
授業概要			対応と騎乗技術と 会出場・ライセン					授業形式	実習			
到達目標	馬場馬術、障 競技会に参加	管害馬術の 1し、常に	里解し、正しい運 乗り方の違いを理 目標を持って技術 会が発行する乗馬	!解し、目 i向上を目	的に合わせた 指す。			<i>、</i> グ法を身につ	ける。			
教科書・教 材・服装等	· LET'S ENJ	IOY RIDIN	G ・乗馬教本	・正しい	姿勢で乗る	٠R	eal Riding					
授業計画時間 数					授業内容		14 14 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15					
1~12	指導補佐:馬	取扱い時の	の安全の確保、マ	ナー、配	慮について							
13~24	指導補佐:縣	5乗時の注	意点、安全の確保	Į.								
25~36	馬上での適切	]なバラン	スの確認									
37~48	騎座の正しい	位置と使り	<b>小方</b>									
49~60	馬の従順性に	ついて										
61~72	馬の柔軟性に	高の柔軟性について										
73~84	より高度な馬	より高度な馬場馬術運動										
85~96	競技会(CRF	競技会(CRPホースショー)の練習。競技の種類やルールの確認										
97~108	エントリーし	エントリーした競技およびライセンス取得に向け経路練習										
109~120	競技会(CRF	ウホースシ	ョー)の参加。使	役の実践	<del></del>							
121~132	競技会のビテ	ずオ動画鑑賞	賞。各自の反省と	今後の目	標を確認							
133~144	競技会反省(作	固別弱点対	策)									
145~156	インターンシ	/ップ対策										
157~160	前期まとめ											
161~172	地上横木(キ	ャバレッテ	ィ)を使用した練	習				-				
173~184	バウンス(連絡	続した低障	害)での空中姿勢	とバラン	スの確保							
185~196	低障害での正	Eしい誘導	 の仕方									
197~208	ジムナスティ	ックを使	 用した馬の調教					. "				
209~220	馬場馬術と障	害飛越の	乗り方の違い、馬	の動作の	·····································							
221~232	それぞれの馬	長の特性に	 合わせたトレーニ	- ング方法	と騎乗要領							
233~244	馬の正しい多	受勢・運動	(3種の歩様)を	再確認								
245~256	ハミ受けにつ	ついて										
257~268	競技会(ホー	-スプロ馬行	<sub></sub>	競技の種	 類やルールの	確認	 忍					
269~280	エントリーし	<u></u> た競技お	よびライセンス取	双得に向け	経路練習		<del>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </del>					
281~292	競技会(ホー	-スプロ馬	お競技会)の参加	ことその練	習。使役の実	践						
293~316	進路(就職先	た)を視野	に入れた個別トレ	ノーニンク	ri.							
317~328	2年間の総ま	とめ										
	・出席率	-			1.20			筆	記試験			
成績評価方法	・チェックラ	ストや実	技試験、馬術競技	支会成績	定期	試験	0	実	 技試験			
	・平常点(扱	是出物・授	業参加意欲など)					·	しない			
	A評価		%以上・実技試験	<b>検評価</b>	憂れている(9	00点	<u>.</u> 以上)・平常	点の優れている	5			
	B評価		~85%以上・実									
成績評価基準	C評価		~75%以上・実						  劣る			
	F評価	+	 基準を満たしてい									

学科名	動物管理科				コース	名	ホースプロコ	ース				
科目名	指導者トレ-	-ニング					必修・選抜	R必修の別	必修			
-1-46-110	1年	前期	- 時間	後期	-	時間	授業時間	]数合計	154 1+8			
実施期	2年	前期	56 時間	後期	98	時間	※授業50分を2	1時間とする。	154 時間			
	千葉千尋、組	郎原恵子、			1							
担当講師	実務経験	有	乗馬指導者資格	有。								
授業概要			ア、馬装等を共に 践で行い、安全性					授業形式	実習			
到達目標	馬の性質や性	生格、状態	〈生徒への指導補 を理解し、ベスト 令のかけ方やタイ	な組み合	うわせや隊列				を力を身につい			
教科書・教 材・服装等	・乗馬安全マ	マニュアル	・乗馬指導者の	心得と基	- 礎馬学							
授業計画時間 数					授業内容							
1~3	馬への近づき	き方、引き	馬、馬体ケアの仕	方と注意	点の説明、	デモ	ンストレーショ	ョン。				
4~6	厩舎管理。馬	馬房掃除等	のデモンストレー	ションと	説明。							
7~10	厩舎管理。食	同料づくり	等のデモンストレ	ーション	′と説明。							
10~13	馬の乗り降り	)の安全管	理、引き馬騎乗で	の補佐。								
14~17	正しい姿勢の	カアドバイ	スを行う。馬上体	操の指導	補佐。調思	素を	利用した指導権	補佐。				
18~20	下乗り及び軸	経速歩のデ	モンストレーショ	ン。速歩	体験の助手	=とし	て伴走する。					
21~23	号令の理解と	下乗り及び軽速歩のデモンストレーション。速歩体験の助手として伴走する。 号令の理解と実践。馬の状態の把握。軽速歩指導の補佐。										
24~26	軽速歩でのノ	経速歩でのバランスを維持する方法についてアドバイスを行う。										
27~29	部班での指導補佐。馬間隔と注意すべき事、安全の確保について学ぶ。											
30~32												
33~35	馬の状態の排	巴握と理由	<u></u> を考える。馬上の	)人との=		 -ショ	ン。					
36~38			<u></u> 体がカタイ人の対									
39~41			チェック。実技検									
42~44	前期まとめ	V 1 7115 12C 12	, = , , , , , , , , ,									
45~47		き方 引き	 馬、馬体ケアの仕	- 方と注意	5占の説明	デモ	ンストレーシ	ョン.				
48~50			理、引き馬騎乗で		2W 02 D(2)/							
51~53			生、竹で		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	. ≨II ⊞	したお道ば仕					
							した相等無性。					
54~56			モンストレーショ				7					
57~59			令をかけタイミン 		にを記控し	1 200 9	<u>ි</u>					
60~62			とのコミュニケー		- 4, 4,							
63~65			把握と号令のタイ						. <u>-</u> .			
66~68			動と手順。部班で			TIOT O	のおきにおい					
69~71			等のデモンストレ					<b>)</b>				
72~74			ングの指導。客観			<b>状</b> 况	<b>拟古。</b>					
75~77			チェック。実技検 <del></del>			<b>.</b> ⊢						
78~80		表の助手と	して注意点を認識	する。達	成茂と反省	点。						
81~130	総復習	The CALL AS										
131~136	<del></del>	・指導者ト	レーニングを終え	ての感想	₹と反省	1						
	・出席率								記試験			
成績評価方法	・チェックラ	テストや実	技試験			期試験	0		技試験			
	・平常点(技		業参加意欲など)		<u>.</u>	200			回しない			
	A評価		5%以上・実技試験						る			
成績評価基準	B評価	出席率94	↓~85%以上・実持	支試験評値	西 普通 (	89~8	0点以上)・平	平常点 普通				
<b>炒順叶</b>	C評価	出席率84	4~75%以上・実持	支試験評	価 やや劣	る (7	9~70点以上)	・平常点 やや	う劣る			
	F評価	C評価の	基準を満たしてい	ない場合								

学科名	動物管理科						ス名	ホースプロコ	ース			
科目名	業界インタ	ーンシップ						必修・選抜	R必修の別	 必修		
中佐田	1年	前期	-	時間	後期	,-	時間	授業時間	間数合計	150 時間		
実施期	2年	前期	-	時間	後期	150	時間	※授業50分を:	l時間とする。	100 時間		
	各企業様									<u></u>		
担当講師	実務経験  有  各企業現場指導者様											
授業概要	動物病院やのサービスを		ップ、動 ·	物関連が	を設にてイ	ンターン	シップ	『を行い、現場	授業形式	実習		
到達目標	動物関連企	業等で実践	業務を学	び、知詞	戦の向上を	図る。						
教科書・教 材・服装等	無し											
授業計画時間 数						授業内	<b>*</b>					
1~150	各企業での	施設の見学、	、各企業	の接客ノ	レールやマ	ナーの習	得。					
	店舗での実	銭的な実習。	)		-							
	3つの企業	をそれぞれ	7日間程	度インク	ターンシッ	プを行う	0					
									•			
	,											
									_			
			-									
						. <u>-</u>			1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			
	・企業担当	者による勤	務・業務	管理を実	実習手帳上	で行う			筆記	己試験		
<b>成績評価方法</b>	・レポート	是出					定期試験		実担	支試験		
								0	実施	しない		
<b></b> 龙績評価基準	R評価	100時間」	以上のイ	ンターン	ノシップ実	績がある	こと。	実習手帳、レス	ポートを提出し	.た者		
<b>火順計    季华</b>	F評価	R評価の基	基準を満:	たしてい	ない場合							

# 2024就職ガイドシラバス(授業計画)

学科名	動物管理科			ホースプロコース								
科目名	就職ガイド	2		-		必修・選択必修	の別 必修					
	1年	前期	- 時間	後期	- 時間	拉墨吐朗粉	1					
実施期	2年	前期	14 時間	後期	- 時間	授業時間数合記 - ※授業50分を1時間と	- 1 20 時間					
<b>美</b> 爬坍	3年	前期	時間	後期	- 時間	- 《汉来30分》と1時間と	- 7 - 0 0					
	※1年次合同企業ガイダンス6コマ含む											
	荒井 千鶴											
担当講師	実務経験	無										
	動植物業界	<u> </u>	人材の育成。	企業インター	 ·ンシップや就	職活動での必						
授業概要			へと繋げる。				   					
汉未恢安							C/N 20 B1332					
			•			8.3 4807 187 - 70, 18						
到達目標	自己分析とな	企業研究を行	い、全員が内	定を頂ける様	にしていく事	を目標とする。						
教科書・教			-									
材・服装等												
授業計画時間												
文采可 凹 时 间 数				ž	受業内容	보고 이 전 교육을 보았다. 12 대전 :						
1	就職室の紹介	介/就職活動!	こ向けて(内定	『スケジュー』	レ)		eta eta diseba eta 15a erabet espera (h. 1919). A					
2			志望動機)・採			いて						
3	メールの送		3-1-	7134-0-00-1								
4	企業説明会(											
5	企業説明会(											
6	求人情報の約						<u></u>					
7	IS事前準備(	1)										
8	ISを依頼する	 る際の電話の	掛け方・ロー	ー ルプレイング								
9	面接対策					•••	·					
10	IS事前準備(	②(実施確認	書と注意点)									
11	夏休み中の	就活の取り組	 lみ方									
12	お礼状・送ん	付状の作り方										
13~14	IS心構えと	フィールドワ	ーク・レポー	ト提出								
10 14	・出席率						筆記試験					
					定期試験		II = NEA					
	・期末レポー	ート提出			<b>上</b>	]	実技試験					
成績評価方法	・期末レポー		参加意欲など	)	<b>上</b> 州武尉		実技試験 実施しない					
	・期末レポー	提出物・授業	参加意欲など 6以上・提出物			:						

学科名	動物管理科					, <b>a</b> -	-ス名	ホースプロニ	コース	
科目名	コミュニケ-	ーション	***		· · · =			必修・選	択必修の別	必修
四米和	1年	前期	-	時間	後期	-	時間	授業時	間数合計	29 時間
実施期	2年	前期	14	時間	後期	15	時間	※授業50分を	1時間とする。	29 时间
	荒井 千鶴									
担当講師	実務経験	無						-		
授業概要	社会人として ていく。	- て必要な知記	哉やコミ	ュニケー	-ション能	力を学	交生活を	通じて会得し	授業形式	講義
到達目標	社会人として	てのビジネス	スマナー	やコミュ	. ニケーシ	ョン能力	力を身に	付ける。		
教科書・教 材・服装等	無し									
授業計画時間 数						授業内	容			
1	2年次の学権	交生活につい	いて①				•			
2~3	学校行事につ	ついてのディ	ィスカッ	ション①	)					
4~5	学校行事につ	ついてのディ	ィスカッ	ション②						
6~7	学校行事につ	ついてのディ	ィスカッ	ション③	0)					
8~9	学校行事につ	ついてのディ	ィスカッ	ション④	)					
10~11	学校行事につ	ついてのディ	ィスカッ	ション⑤		·				
12~13	学校行事につ	ついてのディ	ィスカッ	ション⑥						_
14~15	学校行事につ	ついてのディ	ィスカッ	ション⑦	)					
16~17	学校行事につ	ついてのディ	ィスカッ	ション(8						
18~19	学校行事につ	ついてのディ	ィスカッ	ション@	0)					
20~21	学校行事につ	ついてのディ	ィスカッ	ション①						
22~23	学校行事につ	ついてのディ	ィスカッ	ション①	D)					
24~25	学校行事につ	ついてのディ	ィスカッ	ション①	2)					-
26	学校行事につ	ついてのディ	ィスカッ	ション①	3					
27~29	学校行事につ	ついてのディ	ィスカッ	ション①	4)			. ,		
	・出席率								筆記	
成績評価方法	・平常点(技	是出物・授	 業参加意				- 定期試験	ŧ	実担	
							1	0	実施	しない
	R評価	出席率80	%以上	・提出物	・平常点	優れてし	ゝる		<u> </u>	"
成績評価基準	F評価	R評価の基	*準を満	たしてい	 ない場合	•				